



# Yonago East Weekly

創立 / 1968年4月24日 事務所 / 米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 (0859)32 5531  
 例会日 / 水曜日12:30 ~ 13:30 例会場 / ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 (0859)33 0911  
 会長 / 宮本守 幹事 / 井上賢明 会報 / 西上哲弘 提供 / 東京印刷

## 出席報告

会員数77名 出席数 43名 欠席数 28名  
 出席免除会員 6名(荒川(雄)君、笠井君、伊藤(敬)君、村上君、田中君、戸田君)  
 出席率 60.56%  
 前回補正出席率 2/14 100.00% 2/7 81.94%

## 欠席者

芦立君、足立君、江原君、圓道君、深田君、秦野(愛)君、秦野(一)君、細田君、河井君、小西君、前田君、前畑君、水島君、宮岡君、村上(博)君、長棟君、野坂(裕)君、野津君、安井君、田淵君、高木君、瀧井君、瀧井君、田村君、種田君、寺崎君、内田君、柳谷君

## ビジター

## メーキャップ

新宮君、岩崎君(2/18第7G IM)新宮君、宮本君、新納君、小谷君、小土井君、宮岡君、江原君、橋谷君、木美君、永島(清)君、勝部君、高橋君、瀧井君、植田君、吉岡君、種田君、野坂(美)君(2/18作文コンテスト)、北沢君(2/24IA顧問教師連絡協議会)

## 今週のお祝い

本人誕生祝: 2日秦野愛子君、3日秦野一憲君、笠井商臣君、植田明君、6日野坂裕一君、23日妹尾学君、夫人誕生祝: 4日高木紀年君、6日野坂裕一君、19日木下博夫君、23日秦野一憲君

スマイルBOX 8,000円 (累計706,000円)

本人誕生祝: 妹尾君、植田君、夫人誕生祝: 木下君、

## 会長挨拶

本日、池田豊史会員の密葬に行ってきました。突然の訃報でロータリーにとっても貴重な人が亡くなりました。残念で仕方ありません。心からご冥福をお祈りしたいと思います。ロータリーの友を読んでいくつか参考になることがありましたのでご紹介いたします。ロータリーのクレジットカードで2000年から2006年の1.1.トータルでRIに入るお金が500万ドル(6億円)とのことです。われわれもカードを使うならロータリーカードを使いましょう。2. 米山奨学生の方を講師にしてその国の言葉を学ぶ勉強会をやっているクラブがあります。米子東クラブでもやってはどうでしょうか。3. 外国旅行を行う同好会がありました。4. GSEの体験実習として農業をしている所もあります。このように地区便りの掲示板に目を通していただくと参考になることがたくさんあります。増強のことですが、OBなど復帰されやすい環境作りができないか常日頃思っています。

## 幹事報告

1. 改訂版「ロータリー情報マニュアル」購買のご案内  
 第2650地区がバナー平井様よりご依頼  
 締切 5月31日  
 発行 8月上旬
2. 米山記念奨学会より 感謝状  
 米山功労者 野坂美仁君  
 米山「功労クラブ」8回
3. 訃報のお知らせ  
 池田豊史君
4. 例会変更通知  
 松江東RC 3月29日(木) 休会  
 ビジター受付なし
5. 例会後臨時理事会を行います。



LEAD THE WAY

率先しよう

## プログラム



「梨の花は春の雪」 松本 薫 氏

今日は、本の紹介、そこに込めた思い、撮影のエピソードそして地方から文化を発信していく事のお話をしてみたいと思います。

梨の花は春の雪という本を出版しました。内容は、主人公と料理人の夫そして小学生の娘が梨づくりをしていた夫の父親が病に倒れたため東京から米子に帰ります。主人公は、なれない土地で好きだったフードライターの仕事をやめ何かも失ったような挫折感を感じます。夫や夫の友人、いろいろな人との関わりや夫の亡くなった母親の日記に感動し梨作りに新しい希望を見つけていくのが大まかなあらすじです。私自身も梨農家の出身です。私が小説を書き出したのは、

30歳ぐらいからです。米子に帰ってきたのは、挫折体験があったからです。教員をやめ父がなくなって帰ってきました。仕事を失ってこれから何をしようかと悩んだ時期がありました。自分を救ってくれたのは、書くということでした。

書くことがあったから自分がんばってこれたと思います。今回細々と書いていたものが市民シネマの原作となり本となり皆様に知ってもらい大変ラッキーだったと思います。映画の撮影は、9月8日から始まり20日間に及びました。朝4時から夜中まで大変ハードでしたが楽しかったです。私も裏方で撮影用の料理をたくさん作りましたし、実家も撮影場所になり、エキストラで出演しました。恥ずかしかったです。よく書いたものが映画になるってどんな気持ちかと聞かれます。本と映画は、意図が違います。米子で小説を書くのは、厳しいものがあります。お金を出せばヒットする時代です。お金がなくても皆が力を持ち寄っていいものを作ろうという志が大切だと思います。鳥取県のすばらしさを本を書いて改めて実感しました。これからも米子で本や小説を書いていきたいと思ひます。

ぜひこの本を読んでください。ありがとうございました

## 第6回米子市中学生作文コンテスト表彰式

日時:2007年2月18日(日) 10:00~12:00

場所:ホテルサンルート米子 「芙蓉の間」



## 次回プログラム

2月28日 健康診断(労災病院にて)  
3月7日 「ロータリーの友紹介」  
雑誌委員長 水島貞夫君  
「私の職業奉仕」 水島貞夫君

3月14日 「あと2年ではじまる 裁判員制度」  
米子地方検察庁 支部長検事  
寺本哲也 氏

21日 休会